

今回編さんする栗山町(平成)史第3巻は、すでに刊行されている町史に記されていない平成元年から平成30年までの30年間の歴史資料を収集・整理し、地域の歴史を編み直すものです。栗山町史第2巻刊行から26年、本町も大きく変わりました。その間、町史に関する新資料の発見や収集なども行われています。



わかりやすく栗山の歴史を伝え、残していくための町史編さんには、多世代にとつて親しまれ読みやすく、そして興味・関心を持ってもらえるものが重要です。しかも、手にとりやすいボリューム、まちづくりや生涯学習、子どもたちの教育活動などで活用される町史です。

しかし、今までの町史は手に取りにくい書籍で「価格が高い、扱うのが重い、難解で読みにくい」などと言われ、なかなか親しんでもらえないものが多かったのが実態です。従って、地域の歴史文化への興味・関心を高め、結果としてたくさんの方に

「ひとつの事実の積み上げの中で

町史を手にとってももらえる仕掛けが必要だと思っています。

町史編さん作業は、歴史的な歩みを明らかにし、貴重な資料を共通財産として後世へ伝えていくことを目的としています。もちろん、ふるさとを知り、郷土愛を育んでいくことが大きな要素です。新しい地域を創造し、学んでいくことが本書に託されていると思います。

年表を作成していく中で、歴史を構成する要素がだんだんとわかってきました。単年度のこともあるし、複数年にまたがることもあって、収録のバランスを取ることはとても困難です。また、1つの項目につき数行で表現することも、案外難しいと感じています。

町史編さん作業の中でのさまざまな思いを大切に、未来の栗山のために、一つひとつの事実を積み上げ、記録していく新たな歴史創りに私は参画したいと思っています。(衣川)

【問い合わせ】

栗山町史編さん室
☎7820

皆さんのご来場・ご参加に感謝

今年、専務理事を務めています西岡政則です。

4月8日、9日の2日間にわたり「ふるさと田舎まつり2017」を開催させていただきました。風も強く寒い中ではありましたが、各地より約1万6千人のご来場があり、盛況のうちに終了することができました。趣旨に賛同をいただき、多大なご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

「ふるさと田舎まつり」が、

栗山町をはじめ、めヶ張市、由仁町、長沼町、南幌町の南々空知1市4町の連携推進と魅力発信の場となり、隣町の垣根を越えた協働する「まちづくり」となるように、ますます盛り上げていこうと思っていますので、今後ともご協力をお願いします。

また、4月8日には夕張川自然再生協議会の主催で、サケ稚



魚放流会が開催されました。栗山青年会議所の先輩諸氏が平成20年より継続してきた本事業も今年で記念すべき10回目を迎えました。

この10年間、行政や町民の皆さんのご賛同により、サケの自然産卵に向けた環境整備を進めてきました。地道に継続し、平成27年には栗沢頭首工に魚道も設置されました。近年でも確認できるようになり、着実に放流した稚魚が成魚となり戻ってきています。



栗山青年会議所メンバーでは、栗山町のシンボルとなる夕張川に関わる活動を通して、今やるべきことを行い、次代を担う子どもたちが故郷を想い誇れる気持ちを少しでも育み、次代へとバトンを繋いでいけるようにしたいと思っています。

新たな拠点で今までの以上の活動を

こんにちは。地域おこし協力隊の石井翔馬です。

皆さんは、ゴールデンウィークをいかがお過ごしでしょうか。前回(平成28年12月号)の記事で、水道管を凍らせることなく無事に春を迎えたい...と書きました。本日(4月中旬)現在、無事に春を迎えることができました! 周りのスタッフに伝えると、「それは家の断熱がいいからだ」と言われましたが、何はともあれホッとしました。車のタイヤも履き替え、自転車も出し、夏を迎える準備は万端です。

さて、協力隊の活動ですが着任2年目を迎え、今まで以上に活発に動くことや活動に柔軟性に持たせることを目的に、仮の活動拠点を開設する運びとなりました。

北海道介護福祉学校の目の前にある住宅(木の城たいせつデザイン)の2階を間借りしています。関係者の皆さんには多大なるご理解とご協力を賜りまし

て、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。そして、おじやましていきます。活動の内容も、ラジオパーソナリティやウェブマガジンの執筆などで栗山町の宣伝をしつつも、もっと町民の皆さんも協力隊が浸透するようにギアをあげて頑張っていきますので、2年目もどうぞよろしく願います。



まちを好きになるアプリ



マチイロ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

1 役立つ行政情報を見逃さない!

2 自分に合わせた情報が届く!

3 いろいろなまちの魅力をお届け!

ダウンロードはこちらから

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう



※アプリの使用は無料ですが、通信費は回線ごとのご負担となります。
※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

【マチイロに関する問い合わせ】株式会社ホープ ☎092-716-1404

行政情報アプリ「マチイロ」で「広報くりやま」が見られます!

4月には入学式シーズン。町内の学校で総勢294人が新たなスタートを切りました。真新しい色とりどりのランドセルを背負い、元気に初登校していた小学1年生や、緊張と期待が入り交じった表情をしていた学童など、さまざまな風景を見ることができました。「仲間とともに助け合い、支え合いながら互いに成長する」の誓いを胸に、しっかり学び、立派な大人になることを願っています。

入

学

式



栗山中学校 95人



北海道介護福祉学校 41人



栗山高校 58人



栗山小学校 74人



角田小学校 14人



継立小学校 12人

コラム
お金のおはなし

老後の備えについて

文・星 洋子 さん

くりやまライフサポーター
応援ファイナンシャル・プランナー (FP)

【申込先・問い合わせ】町若者定住推進室 ☎ 73-7521

自分年金を作ろう

日本で100歳以上の人が何人いるかご存知ですか。1千人？1万人？いえいえ、平成28年9月時点で6万5千人余り（厚生労働省）です。

人生100年時代、長寿は大変めでたいことですが、一方で「長生きのリスク」という言葉があります。冷たい表現だと私は思いますが、生きていくにはお金がかかることを意味します。

夫65歳以上の無職夫婦二人暮らしの家計は、毎月約5万5千円（総務省家計調査2016年）の赤字です。赤字（公的年金などで足りない分）は、預貯金や退職金、個人年金などで補っています。

今の現役世代も公的年金だけで老後の生活が成り立つとは考えていないでしょう。将来の公的年金の所得代替率（現役の給料との比較）は、50%の見通し（モデル世帯）です。

現役の生活費の半分でやりくりできるなら、年金のみでやっていけるかもしれませんが、それ以上になると若い時から準備が必要です。預貯金で備える、私的個人年

金に加入するなどで、自分年金を作り老後に備えましょう。

確定拠出年金個人型（iDeCo）、以下「イデコ」の制度が改正され、今年から原則20歳以上60歳未満なら誰でも加入できるようになりました。イデコは私的個人年金ですが、加入時・運用時・受給時の税制優遇という大きな特徴があります。

※今年度からコラム「お金のおはなし」は奇数月となります。
※次回は7月号「確定拠出年金個人型（イデコ）について」です。
お楽しみに。



1級FP技能士、2級DCプランナー。一般企業で10年以上経理・総務業務に従事しながら、自身の家計の見直しのためにFPの資格を取得。ライフプランを提案する独立型FPとしてセミナー講師、相談業務などを中心に活躍中。

ファイナンシャル・プランナーによる

FP出前講座

対象者

町内在住の40歳以下または、中学生以下のお子さんがある保護者の方5人以上で構成する団体やグループなど（先着順、最大3件まで）

講座内容

教育資金計画、家計の赤字解消、住宅ローン、子どもの小遣いについてなど

親子レクにも!!
お小遣いについてお子さんと一緒にゲームで楽しみながら学べます

実施期間

5月1日(月)～平成30年2月28日(水)

(実施日は申込者と講師の日程を調整し決定)

派遣場所

町内の公共施設・集会場など申込者が指定する場所

講師

FPオフィス・スターサポート代表 星 洋子さん
バナナンキッズ代表 横井規子さん（こづかい講座担当）

【希望日の2週間までに町若者定住推進室に連絡】

費用は
無料